

こんなところにとらぶるの芽 (No.56)

～ちょっと気になる消費生活情報をお届けします～

キャスター付バッグは迷惑？ 使うときは周りに気配りして



最近では、旅行だけでなく、買い物やビジネスなど様々な場面で利用されているキャスター付バッグ(*)ですが、キャスター付バッグに絡む事故やトラブルが後を絶ちません。今回はキャスター付バッグを使用する際に注意すべきポイントをまとめました。

(*) “キャリアバッグ” “キャスターバッグ” などとも呼ばれている小さな車輪の付いたバッグのことです。

事例1 ぶつかって骨折

ショッピングモールで、大きなキャスター付バッグを引いている人のバッグにつまづいて転倒し、ひざを骨折した。

事例2 足を轆かれた

駅のホームで電車を待っていると、体の後ろでキャスター付バッグを引いている人のバッグに度々足を轆かれる。痛いし、不快。

事例3 エスカレーターでキャスター付バッグが落下

駅でエスカレーターに乗っていたら、キャスター付バッグの持ち主が手を離し、上からバッグが落ちてきた。受け止めようとしたが重すぎて受け止められず、足首にあたって打撲をした。

■ どうしてキャスター付バッグはトラブルが多いの？

混雑している場所では、近くを歩く人の足元は見えにくく、バッグが他の歩行者の視界に入らなかったり、気づきにくかったりするので、バッグにつまづいて転倒するトラブルが起こりやすくなります。(事例1)

また、自分が見えない後方は、注意が行き届かないものです。バッグを体の後ろで引く場合、自分では気づかないうちに周りに迷惑をかけているかもしれません。(事例2)

ヒヤリと「させる」意識が低く、相手の不快感に気づかない？

東京都が行った調査(*)では、日常生活上の日用品使用において「人からヒヤリとさせられたもの」に、キャスター付バッグが第3位に入りました。また、ヒヤリと「させた」経験者数と「させられた」経験者数を比べたところ、キャスター付バッグではヒヤリと「させる」意識は低く、相手の不快感に気付いていないと推察される結果となりました。

ヒヤリとさせられたもの ワースト5

順位	品名	経験者数(人)	割合(%)
1	自転車	921	31
2	傘	847	28
3	キャスター付バッグ	485	16
4	買い物カート	341	11
5	ベビーカー	294	10

不快感に対する意識の度合

順位	品名	ヒヤリと「させた側*」:「させられた」概ねの比率
1	キャスター付バッグ	1 : 5
2	買い物カート	1 : 4
3	ベビーカー	1 : 4
4	傘	1 : 2
5	自転車	1 : 2

※させた側:
ヒヤリと「させた」又は「させそうになった」

(*) 日常生活に潜むヒヤリ・ハット調査(平成25年4月24日)

http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/enzen/hiyarihat/trouble_you-130424.html

■トラブルや事故を防ぐために

・混雑した場所では

駅構内や繁華街など混雑した場所では、バーを短めにして体の側面で持つか、なるべく体の近いところで引くようにして、他の人の邪魔にならないようにしましょう。

・キャスター付バッグを後方で引くとき

体の後方で引く場合、自分が思っている以上に後ろにスペースが取られています。また、突然立ち止まったり、方向転換すると、付近を歩く人がキャスター付バッグにつまづいたり、転倒する恐れがありますので、周囲の状況を確認しながら、できるだけ体に近づけて引くようにしましょう。

・エスカレーターでは

エスカレーターでは、キャスター付バッグから手を離さないようにしっかり持ちましょう。また、自分で持ち上げられないほど大きいもの、重いものは、エレベーターを利用しましょう。

キャスター付バッグは重いものでも手軽に運べるので便利ですが、使い方によっては他人にケガをさせる恐れがあります。キャスター付バッグが他の人の歩行を妨げたり、それにつまづいて転倒させることのないように、周囲の安全に配慮しながら使うようにしましょう。

■ここに気を付けよう



- ・キャスター付バッグは周りの安全に配慮しながら使う。
- ・混雑した場所では手で持つか、できるだけ体に近づけて引く。
- ・エスカレーターに乗せるときは落下しないように注意する。

「キャスター付バッグ」関連の情報は下記ホームページでご覧になれます。

- ・キャリーバッグでの事故 –他人を怪我させてしまうケースも– (国民生活センター)

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20091202_1.html